

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0031

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート

( 文部科学省 )

事業名	高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業			担当部局庁	高等教育局			作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定) 年度	令和4年度	担当課室	専門教育課			専門教育課長 塩田 剛志	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2022(令和4年6月7日閣議決定) ・統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) ・物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策(令和4年10月28日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新しい資本主義を実現するうえで、社会的な課題にアプローチし解決するためのスタートアップが果たす役割は重要であり、起業を担う人材の育成が喫緊の課題となっている。近年、高専生が「高い技術力」、「社会貢献へのモチベーション」、「自由な発想力」を生かして起業する事例が出てきており、スタートアップ人材育成の動きを加速するための高専教育の環境整備を支援することで、高専での活動をいかしたスタートアップの創出を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国各地に存在する国公立高専を教育拠点として、「ものづくり」×「AI」×「課題解決」によるイノベーション・スタートアップを強力に推進するため、アントレプレナーシップ教育に取り組む全ての国公立高専に対して、高専生が自由な発想で集中して活動にチャレンジできる起業家工房(試作スペース)等の教育環境整備などスタートアップ人材育成に資する各高専の戦略的な取組を支援する。 【補助率: 定額補助】								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位: 百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	/		
		補正予算	-	-	-	6,014			
		令和4年度 第2次補正予算	-	-	-	6,014			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	0	0	0	6,014			
	執行額	0	0	0	-				
	執行率(%)	-	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	-	-	-	-					
令和4年度第2次 補正予算内訳 (単位: 百万円)	歳出予算目	令和4年度 第2次補正予算	主な増減理由						
	大学改革推進等補助金	6,014	-						
	計	6,014							
活動内容 (アクティビティ)	・アントレプレナーシップ教育に取り組む全ての国公立高専に対して、高専生が自由な発想で集中して活動にチャレンジできる起業家工房(試作スペース)等の教育環境整備などスタートアップ人材に資する各高専の戦略的な取組を支援。 ・高専生が起業家工房を利用しながら、仲間とともに社会課題解決などに向けて、自らの技術を用いた解決策の検討や試作品の製作など、色々なことにチャレンジする活動を支援する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	高専によるスタートアップ人材育成の教育環境整備	本事業により整備された高専における起業家工房(試作スペース)等の数	活動実績	機関	-	-	-		
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	/	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	高専生が自由にチャレンジする活動を推進	本事業で整備した起業家工房を活用して様々な活動を行うチーム数	活動実績	チーム	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/採択件数			単位当たり コスト	百万円	-	-	-	
				計算式	百万円/件	-	-	-	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
				7年度	9年度				
	自らの技術を生かして、社会課題解決に向けてチャレンジする高専生を増加	学内外の各種コンテストに参加する高専生数	成果実績	人		3,000			
			目標値	人	-	-	6,000	10,000	
			達成度	%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	アウトプットについては、本事業選定高専の事業計画を踏まえて決定 アウトカムについては、文部科学省調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
				9年度	15年度				
	全国各地に存在する高専からスタートアップ人材の育成・輩出を推進	高専発(高専生や卒業生を含む)によるスタートアップの起業数(累計)	成果実績	機関		12			
			目標値	機関	-	-	50	100	
			達成度	%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	令和2年度「大学等における産学連携等実施状況について」(文部科学省)								
政策評価、 新経済・ 財政再生計画と の関係	政策評価	政策	4 個性が輝く高等教育の振興						
		施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上	政策評価書URL	<a href="https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/seisaku_n/portal/index/mext_r01.html">https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/seisaku_n/portal/index/mext_r01.html</a>				
	新経済・ 財政再生 計画改革 工程表 2021	取組事項	分野:	-					
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-					
			該当箇所	-					
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業は、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2022(令和4年6月7日閣議決定)などに基づいて国として進めることが必要な施策であり、社会のニーズを捉えた事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2022(令和4年6月7日閣議決定)などに基づき、高専におけるスタートアップ人材育成を加速する事業であり、国が財政支援を行いながら取り組む必要がある。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2022(令和4年6月7日閣議決定)などに示されている目標の実現のための施策であり、政策の優先度が高い事業である。				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	支出先の選定に当たっては、公募を実施し、有識者からなる委員会で、その妥当性などを確認しながら選定する。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○	本事業は、公募を実施した上で有識者からなる委員会で選定することとしており、妥当な負担関係を確保する予定である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について妥当なコスト水準であるかを厳正に確認する予定である。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認することで、事業目的に即した真に必要なものに限定する予定である。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-	-					
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	補助金を交付した高専と密に連携を図り、事業の円滑な実施と補助金の適切な経費執行について確認する予定である。					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標に適した成果実績となるよう、事業の着実な実施に向けた進捗確認や調査の実施等により把握する予定である。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業の実施に当たっては、公募を実施し、最も効果的・効率的に実施できる者を選定する予定である。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	定量的な活動実績を設定した上で事業の実施を予定しており、活動実績の着実な向上に向けて取り組む予定である。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業における成果等については、ホームページや各種メディアへの掲載、高専間の連携による活動等を通じて活用の促進を図る予定である。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-

備考

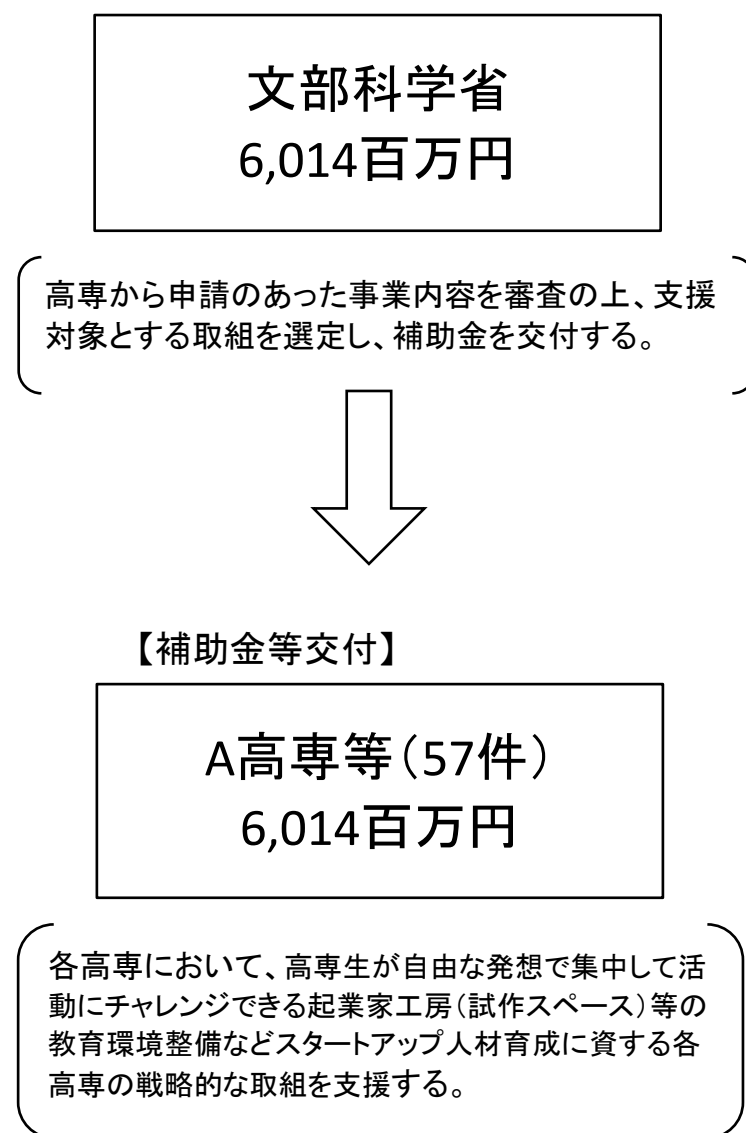
-
---

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	-			
令和元年度				
令和2年度				
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
	計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-	-		-	-	